

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化や終末期のあり方について、事務所がどこまでできるのか曖昧な時がある。	利用者や家族の思いに寄り添った支援ができるようにする。	重度化になった場合は、利用者それぞれの状態に合わせ、ご家族やかかりつけ医、職員間で密に話し合う。できる事とできない事を考え、できる限り思いに寄り添えるよう支援する。	12ヶ月
2	17	災害用の備蓄はあっても、高齢者向きではない物がある。	災害という緊急時であっても、個々に合った備蓄食などを準備する。	各災害ごとに応じた体制を整備する。備蓄を高齢者に応じた物を準備する。	3ヶ月
3	22	車いす利用者が増えた事によって、外出が難しくなっている。	状況に応じて少人数の外出や、時にはご家族に協力していただき、ご家族との交流にも楽しんでいただく。	個々に見合ったホーム外周の散歩やドライブなどにできる限り出かけられるよう、身体状況も考えながら支援する。	12ヶ月
4	19	食事準備や後片付けが特定の入居者に偏りがちになっている。	できないからといって全くさせないのではなく、わずかな作業でも個々の能力に合わせて役割を持っていただく。	一緒に手を添えてテーブルを拭くなど、個々の状態に合わせて、無理せず行える作業を見極める。	12ヶ月
5	21	立ち上がり不安定であったり、浴槽に入る事が困難な利用者が増えつつある。	その日の体調や立ち上がり具合の情報交換をしっかりと行い、利用者それぞれに合った入浴方法を考える。	スタッフ同士サポートしながら入浴が行えるよう対応する。浴槽に入る事が困難であれば無理せずシャワー浴を行うなど状態を見て対応する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	⑬	火災、台風、水害、地震などの緊急マニュアルを作成しているが、個々の安全を確認する物がない。	緊急時に避難した時などに本人を知らずの方にも名前や顔、連絡場所がわかる様にする。	避難した利用者が首からネームカードを下げる。カードには顔写真、名前、生年月日、家族の連絡先を記入し玄関に設置する。	6ヶ月
2	⑰	会事が楽しかった物にする様に一人一人の好みや力を活かしてから利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをする。	利用者が出来る範囲で食事の準備、片付けを行う。旬の物を使う様に心掛け、行専、お祝い事なども取り入れる。	利用者それぞれに出来る事を行う。誕生会や、赤飯、ちうし寿しなどを準備する。行専の日は、外出し外食、テイクアウトで好みの物を食べる。	12ヶ月
3	⑳	一人一人の希望やタイミングに合わせて入浴をする。入浴が楽しめる様に支援する。	入浴を好まない方には、体調、気分を配慮した上で声掛けを行う。	入浴は週2回を基本としているが、本人の体調に応じて対応している。外来受診の予定がある時は、予定を調節し前日に入浴出来る様にする。	6ヶ月
4	⑨	一人一人の思いや暮らし方の希望を全部受け取るのは困難が多い。	一人一人の話しに耳を傾け思いや意向を把握する様にしたい。	本人の思いを引き出す様に、ゆっくりした時間に話し掛けを行い、本人の表情や見かけから思いに合った介護を心掛けて行く。	6ヶ月
5	⑰	運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させて行く。	月一回のミーティングをより話しやすくする為に、前もって記入用紙を用意する。	事前に話し合う事を決めておき、一人ずつ決めて必ず誰かに相談する。悩みや介護で困っている事は皆んまで相談して解決する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。